

一八三三番

梅うめの花はな 降り覆おほふ雪ゆきを 包つつみ持もち 君きみに見みせむと  
取とれば消けにつつ

一八三四番

梅うめの花はな 咲さき散ちり過すぎぬ しかすがに 白しらゆき庭にはに  
降ふりしきりつつ

一八三五番

今更いまさらに 雪降ゆきふらめやも かぎろひの 燃もゆる春はるへ  
と なりにしものを